

宿泊約款

令和 3 年 4 月 26 日

(適用範囲)

第 1 条

1. T-PARK CLUB HOUSE SIDE (以下「当施設」と称す。)が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとしめます。
2. 当施設が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとしめます。

(宿泊契約の申込み)

第 2 条

1. 当施設に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当施設に申し出ていただきます。
 - (1) 宿泊者の氏名、性別、国籍及び職業
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 泊料金 (原則として別表第 1 の基本宿泊料による)
 - (4) その他当施設が必要と認める事項
2. 宿泊客が宿泊中に前項第 2 号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当施設は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第 3 条

1. 宿泊契約は、当施設が前条の申し込みを承諾したときに成立するものとしめます。ただし、当施設が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間 (上限 3 日間) の基本宿泊料を当施設が定める申込金を、当施設が指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第 6 条及び第 18 条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第 12 条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第 2 項の申込金を同項の規定により当施設が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとしめます。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当施設がその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条

1. 前条第2項の規定にかかわらず、当施設は、契約の成立後の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当施設が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払い期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条

1. 当施設は次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
 - (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
 - (2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - (4) 宿泊しようとする者が、次の(イ)から(ハ)に該当すると認められるとき。
 - (イ) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - (ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - (ハ) 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (6) 宿泊しようとする者が、伝染病に感染している疑いがあるとき。
 - (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - (8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (9) 沖縄県旅館業法施行条例第5条第3号の規定する場合に該当するとき。
- (注) 条例第5条第3号で定める理由は、次の各号に掲げる通りとする。
- ① 宿泊しようとする者が、泥酔しまたは言動が著しく異常で他の宿泊者に迷惑をかけるおそれがあると認められるとき。
 - ② 宿泊しようとする者が、身体または衣服等が著しく不潔であるために、他の宿泊者に迷惑をかけるおそれがあると認められたとき。

(宿泊客の契約解除権)

第6条

1. 宿泊客は当施設に申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当施設は宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除

した場合（第3条第2項の規定により当施設が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除した時を除きます。）は、別表第2に掲げるところより、違約金を申し受けます。ただし、当施設が第4条第1項の特約に応じた場合にあつてはその特約に応じるに当たつて、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当施設が宿泊者に告知したときに限ります。

3. 当施設は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後20時（到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を1時間経過した時刻）になつても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

（当施設の契約解除権）

第7条

1. 当施設は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
 - （1） 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は、同行為をしたと認められるとき。
 - （2） 宿泊客が次の（イ）から（ハ）に該当すると認められるとき。
 - （イ） 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - （ロ） 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - （ハ） 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
 - （3） 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑行為を及ぼす言動をしたとき。
 - （4） 宿泊客が伝染病に明らかに感染している、又は感染の疑いがあるとき。
 - （5） 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - （6） 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - （7） 沖縄県旅館業法施行条例第5条第3号の規定する場合に該当するとき。
 - （8） 喫煙所以外での喫煙、消防用設備等に対するいたづら、その他当施設が定める利用規則の禁止事項に従わないとき。
 - （9） 当施設が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

（宿泊の登録）

第8条

1. 宿泊客は、宿泊日当日、当施設のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - （1） 宿泊者の氏名、年齢、性別、住所、連絡先
 - （2） 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - （3） その他当施設が必要と認める事項

2. 宿泊客が第 12 条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第 9 条

1. 宿泊客が当施設の客室を使用できる時間は、午後 15 時から翌朝 11 時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当施設は前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の便用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - (1) 超過 1 時間までは、室料金の 4 分の 1 (25%)
 - (2) 超過 2 時間までは、室料金の 2 分の 1 (50%)
 - (3) 超過 3 時間までは、室料金の 4 分の 3 (75%)
 - (4) 超過 3 時間以上は、室料金の全額 (100%)

(利用規則の厳守)

第 10 条

1. 宿泊客は当施設内において、当施設が定めて客室内に掲示している利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第 11 条

1. 当施設の主な営業時間は次のとおりとします。

(1) フロント・キャッシャー	07:00 ~ 20:00
(2) レストラン (朝食)	07:00 ~ 09:30
(3) レストラン (ランチ)	11:00 ~ 15:00
(4) ゴルフ場施設	07:00 ~ 18:00
(5) 展望大浴場	11:00 ~ 20:00
2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第 12 条

1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表 1 に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当施設が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又は当施設が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当施設が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当施設の責任)

第 13 条

1. 当施設は、宿泊契約及びこれに関する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当施設の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当施設は、万一の火災等に対処する為、施設賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取り扱い)

第 14 条

1. 当施設は、宿泊客に契約した客室を提供できなときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
2. 当施設は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第 15 条

1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の障害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当施設は、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当施設がその種類及び価格の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当施設は 5 万円を限度としてその損害を賠償します。
2. 宿泊客が、当施設内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当施設の故意又は過失により滅失、毀損等の障害が生じたときは、当施設は、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価格の明告のなかったものについては、当施設に故意又は重大な過失がある場合を除き、5 万円を限度として当施設はその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第 16 条

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当施設に到着した場合は、その到着前に当施設が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当施設に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当施設は当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め 7 日間保管し、その後当施設の判断にて処分又は最寄りの警察書に届けます。

(駐車の責任)

第 17 条

1. 宿泊客が当施設の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当施設は場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当施設の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第 18 条

1. 宿泊客の故意または過失により当施設が損害を被ったときは、当該宿泊者は当施設に対し、その損害を賠償していただきます。

(インターネット通信の責任)

第 19 条

1. 当施設からのインターネット通信においては宿泊客の責任において行うものとします。インターネット通信中に生じる様々な障害によりサービスが中断し、その結果宿泊客が損害を受けた場合、当施設は一切の責任を負いません。
2. 宿泊客がインターネット通信中に当施設に不利益となる行為を行った場合又はこれにより第三者に損害が生じた場合はその損害を賠償していただきます。

別表第 1 宿泊料金等の内訳（第 2 条第 1 項及び第 12 条第 1 項関係）

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	① 基本宿泊料（8,000 円）
	追加料金	② 追加飲食（①に含まれるものを除く）
	税金	イ 消費税

（注）

- 小学生以下の子供料金はなく添い寝とみなす。ただし、大人に準じる寝具等を提供したときは大人料金（基本宿泊料）と同額をいただきます。

別表第 2 違約金（第 6 条第 2 項関係）

契約解除の通知を受けた日		不泊	当日	前日	7 日前
一般	8 名まで	100%	100%	80%	50%
団体	9 名以上	100%	100%	80%	50%

（注）

- %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
- 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、全日程分の違約金を収受します。